

校内研修計画

甲州市立 祝小学校

1 学校課題

本校は、全学年1クラスで各学級20名前後の小規模校である。児童は明るく素直で仲が良く、異学年の交流の場もあるため、家庭的な雰囲気も見られる。学習面でも、真面目に取り組む姿が見られる。

昨年度の校内研の中であげられた児童の学習課題は「学習意欲や学習能力の個人差が大きい。」「筋道を立てて考えていくことが苦手。」「文章を読解力する力が乏しい。」「自分の考えを自分の言葉で説明することに消極的。」などがあった。

これらのことは、平成23年度から完全実施となった新学習指導要領では「生きる力」を育む理念のもと、基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに①思考力・判断力・表現力の育成、②主体的に学習に取り組む態度の育成、③言語活動を充実し、言語に関する能力の育成が求められていることに対して祝小の課題とするところである。

2 研究主題

「自ら学ぶ児童の育成」

～算数科における授業づくりを通して～

3 主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

本校では、「心身ともにたくましい児童の育成～かしこく・やさしく・たくましく～」という学校教育目標具現化のために、全教育活動の中で児童の主体的な活動や楽しく充実感のある授業展開が大切であると考えている。「知・徳・体」の調和がとれた人間性豊かな児童の育成するために、「知においては、基礎的・基本的な学力の定着とともに、自分なりに知識を活用し、自ら考えて判断したり、考えたりできる児童の育成が必要である」と考える。そうした力をつけることでいずれは、教育活動全体に渡り「心身ともにたくましい児童」が育まれるのではないかと考えこの主題を設定した。

(2) 児童の実態から

本校では、平成22年度から国語科を中心に「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童」を目指し、「書く活動」と「学びの場」の効果的な活用について研究してきた。平成26年度には教科を算数科にして研究を継続し、一定の成果を得ることができた。しかし、全国学力調査、県学力把握調査、学習アンケート等の結果を考察すると、基礎的・基本的な知識や技能において個人差、学習意欲の低下、思考力・表現力を問う問題への苦手意識、読解力の不足などの課題があった。

そこで、今年度も、甲州市の「学力向上プロジェクト」の取り組みと連携し、算数科において、確かな学力をつけ、「自ら学ぶ児童」を意識して育てていきたいと考えた。そのために、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに言語活動を充実させていきたい。特に、今年度は授業づくりに主眼を置いた3カ年計画の一年目として、授業の基本である導入時の教材の工夫・板書・発問の研究に取り組むこととした。

(3) 算数科の観点から

学校教育法や学習指導要領では、課題解決力や学習意欲の育成をめざしている。昨年度は、言語活動を通して表現力や課題解決力などの育成に取り組んだ。今年度は昨年度の課題として基礎的・基本的知識や技能の向上や表現力・思考力の向上が明らかになったため、算数科の授業の改善を目指していく。

学習指導要領では、算数的活動を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけ、数学的思考力・表現力を育て学ぶ意欲を高めることが基本方針になっているので、本校の研究の課題とするところである。

4 研究内容と方法

具体的内容

① テーマに基づく校内研究)

○ 研究授業の実施「言語活動の充実に関する指導事例」を活用して

○ 理論研究

* 算数科において

・ 教材の工夫、板書、発問、授業展開

・ 思考力や表現力を高めるための言語活動の充実について

○ 学習アンケートの実施と集計・分析

○ 一人実践の取り組み

② 甲州市確かな学力向上プロジェクトとの連携を図る。

○ あいさつ運動・学習規律の取組（授業づくり・授業改善部会との関連）

○ Q-Uの実施（5月、11月）と分析・活用の充実（学級・集団づくりとの関連）

○ 家庭学習の手引きの見直し、家庭学習の推進（保護者・地域との連携部会との関連）

③ 全国学力・学習状況調査の分析と課題

○ 県学力把握調査の分析と課題

○教育課程講習会の環流報告

方法

- 研究授業は、1年目として、教材の工夫、発問・板書を中心に研究を深める。
 ○年度初めに、児童の算数学習アンケートを行う。その結果に基づき、達成度の低い質問
 目に留意し、指導を行う。
 ○個に応じた指導の充実をさらに推進するために、Q-Uを実施し、分析・活用をしてい
 中で児童理解を深める。
 ○全国学力・学習状況調査と県学力把握調査の結果をもとに、課題を確認し、改善策をた
 て、実践する。

5 年間研修計画

研究主任 高石 圭子

回数	月 日	研究の内容	提案・担当	TC要請
第1回	4月 8日	研究主題・内容・方法等の検討 「祝小家庭学習のてびき」について	高石	
第2回	4月15日	研究計画・組織の確認	高石	
第3回	4月22日	研究主題の決定	高石	
第4回	5月13日	算数学習アンケート項目の確認 「甲州市Teachers Note」を使って学習会	高石	
第5回	5月27日	Q-Uの分析(K-13法)と 今後の取り組み	各ブロック	
第6回	6月10日	算数学習アンケート考察と今後の取 組み 「甲州市Teachers Note」を使って学習会	高石	
	6月24日	学級づくり・集団づくりに関わる学習会① 品田笑子先生	学力プロ ジェクト	
第7回	7月 1日	理論研究	高石	○
	7月 8日	授業づくり・授業改善に関わる学習会① 水戸部修治先 生	学力プロ ジェクト	
第8回	7月15日	基礎基本の定着、言語活動の具体的取 組みについて	高石	
第9回	8月19日	教育課程講習会の環流報告 県学力把握調査の分析・改善策について 全国学力状況調査の分析・改善策について	担当 3・5年担任 6年担任	
第10回	9月 2日	祝小学習の手引き見直し 学習規律、あいさつの取組みについて	各ブロッ ク	
第11回	9月 9日	研究授業案検討(ブロック)	各ブロッ ク	
第12回	9月16日	研究授業案検討(ブロック)	各ブロッ ク	
第13回	10月 7日	研究授業案検討(全体)	授業者	
第14回	10月14日	研究授業①	授業者	
第15回	10月21日	研究授業案検討(全体)	授業者	
	10月23日	授業づくり・授業改善に関わる学習会② 盛山隆雄先生	学力プロ ジェクト	
第16回	11月 4日	研究授業②	授業者	
第17回	11月18日	研究授業の成果と課題	各ブロッ ク	○
第18回	11月27日	Q-Uの分析(K-13法)と 今後の取り組み	各ブロッ ク	
	12月 2日	確かな学力育成プロジェクト教育講演会 河村茂雄先生	学力プロ ジェクト	

第19回	1月22日	研究のまとめ（成果と課題） 来年度の方向性	高石	
	1月29日	授業づくり・授業改善に関わる学習会② 鹿嶋真弓先生	学力プロジェクト	
第20回	2月17日	研究紀要作成	高石	